2016年信教の自由と平和を求める2.11集会

「日本にあるキリストの教会の政治的責任」

～いま立つべきところと為すべきこと～」

この時代、もはや「戦前」かとみまごうばかりの政治・文化状況ではないでしょうか。

インプリケーション（implication連累：直接関与していないにもかかわらず『自分には関係ない』とは言えない。そんな過去との関係を示した概念）としての「戦争責任」。

その自覚・共有化に、「戦争を知らない世代」（多くのわたしたち）は蹉跌したのではないか。「責任の再確認・共有化」のために、大切な学びの時間をもちたいと思います。

埼玉地区社会委員会　委員長　清水与志雄

2016年　2月11日（木・休日）

会費　500円

講師　山口陽一氏（東京基督教大学教授）

9:00　受　付　　10:00　礼　拝
10:20　講　演　　12:20　講師を囲んで懇親会
13:00　閉　会

場所　埼玉和光教会

（和光市駅下車→南口より南へ徒歩5～7分→日本生命の右横を入る）
和光市本町15-50 Tel(048-461-2177)

講師より一言

「戦後70年の昨年、日本は戦争参加に向けて大きく舵を切りました。これには国家的な偶像礼拝が伴います。「信教の自由を守る日」の取り組みも正念場です。教会の政治的責任の信仰的な源を確かめ、歴史の教訓に学び、今なすべきことを考え祈りを合わせたいと思います。埼玉地区の皆様との再会と出会いも楽しみにしております。」

山口陽一氏のプロフィール

1958年吾妻教会の4代目信徒として生まれる。栗原道雄牧師から受洗、日本同盟基督教団徳丸町キリスト教会を経て吾妻教会・名久多牧師（1993～2003年）、2004年より東京基督神学校校長、日本同盟基督教団市川福音キリスト教会牧師。2012年より東京基督教大学教授、大学院神学研究科委員長。

主催　埼玉地区社会委員会
協賛「論憲ネットワーク」特設委員会・靖国天皇制問題委員会